

令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

教室名：特別支援教育課
 担当名：教育環境整備推進担当
 内線：6883 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B40	障害のある子供たちの超スマート社会を生き抜く力を育むICT環境整備事業			一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援教育振興費	ゆとりある障害児教育推進事業費	
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 学校教育法、学校教育の情報化の推進に関する法律第二十一			宣言項目	06 次代を担う人財育成		
						分野施策	030622 質の高い学校教育の推進		
1 事業概要				5 事業説明					
障害から生じる課題や困難さを改善・克服し、誰一人取り残すことのない個別最適化された学びを実現するため、全ての県立特別支援学校における障害特性に応じたICT環境の整備などを行う。 (1) 障害の特性に応じたICT環境の整備 入札差金による減額 △97,333千円 (2) 子供たちの障害特性に応じてICT機器を活用できる人材の育成 節約による減額 △4,818千円 (3) 病弱教育におけるICTの活用				(1) 事業内容 超スマート社会で生き抜く力を育む特別支援学校における障害特性に応じたICT環境整備 235,782千円 (2) 事業計画 ア 障害の特性に応じたICT環境の整備 (ア) 学習用タブレット端末の整備 (イ) 指導者用タブレット端末の整備 (ウ) 無線LAN環境の整備 (エ) 大型提示装置(超短焦点プロジェクター)の整備 (オ) タブレット端末用アプリや補助入力装置など、障害の特性に応じたICT機器等の整備 イ 子供たちの障害特性に応じてICT機器を活用できる人材の育成 (ア) 公開研究授業の実施 (イ) 研修資料や実践事例の共有化 (ウ) 大学教授、企業関係者などを招いた研修会の実施 ウ 病弱教育におけるICTの活用(国庫事業10/10) (ア) 病室と教室間での双方向通信による学習活動やVR(仮想現実)による体験学習等を実施 (イ) 病弱教育におけるICT活用の効果検証 (3) 事業効果 ア 子供たち一人一人の障害の特性に応じたICT機器の活用が、子供たちの「わかる・できる」を増やし、教育活動への主体的な参加を促す。 イ 子供たちが自らICT機器を活用できるようになることで、障害から生じる困難さを改善・克服し、自立と社会参加の実現を促す。 ウ 全県立特別支援学校へ整備することにより、学校間の格差を無くし、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを実現できるようになる。 (4) 補正予算の概要 ア タブレット端末等整備に係る入札差金による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 国のモデル研究(病弱教育におけるICTの活用)に係る分(国10/10)									
3 地方財政措置の状況 地方交付税(単位費用) (区分)特別支援学校費(細目)学級経費 (細目)学級経費 (積算内容)教育用コンピュータ整備費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△102,151	国庫支出金	△69,257					△32,894	133,631
現計額	235,782		164,874					70,908	